

海田東小学校校舎建替

保護者・住民説明会

日時：令和7年5月26日（月）

午後7時00分～

1 基本計画策定に係るこれまでの検討状況

時 期	会 議 名 (内 容)
令和 6 年 8 月 27 日	海田東小学校校舎建替基本構想策定
令和 6 年 12 月 6 日	海田東小学校校舎建替基本計画策定及び基本・実施設計業務委託契約締結
令和 7 年 1 月 24 日	第 1 回地域ワークショップ (新校舎の配置に係る意見聴取)
令和 7 年 2 月 20 日	第 1 回地域説明会 (新校舎の配置に係る意見聴取)
令和 7 年 3 月 10 日	第 2 回地域ワークショップ (新校舎の配置・ゾーニング計画案説明, 意見聴取)
令和 7 年 3 月 21 日	第 2 回地域説明会 (新校舎の配置・ゾーニング計画案説明, 意見聴取)
令和 7 年 3 月 31 日	海田東小学校校舎建替基本計画策定

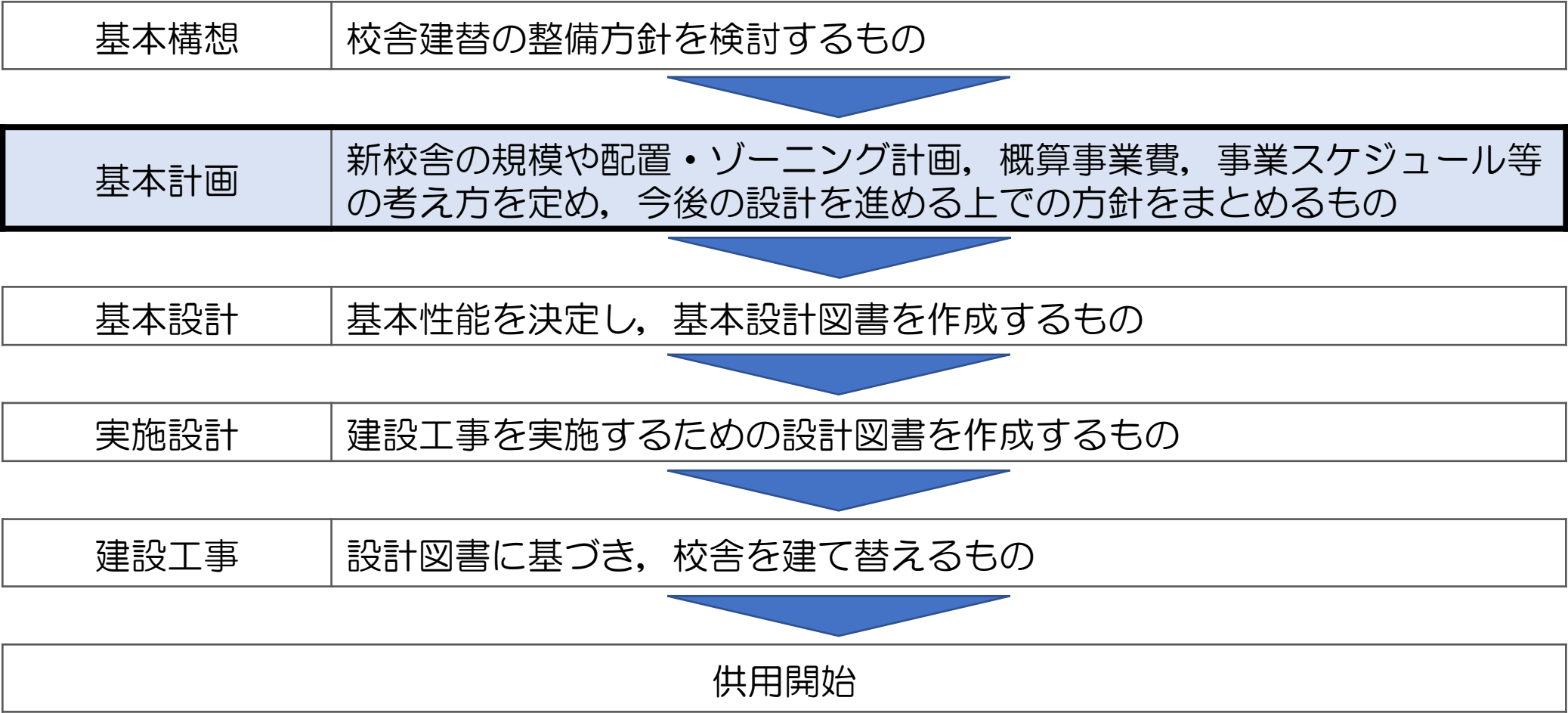
2 今後の予定

時 期	会 議 名 (内 容)
令和 7 年 4 月～10 月	基本設計
令和 7 年 11 月～令和 8 年 11 月	実施設計

海田東小学校校舎建替基本計画の目的と位置付け

当該計画は、海田東小学校校舎建替基本構想に掲げる整備方針を具体化するものであり、新校舎の規模や配置・ゾーニング計画，概算事業費，事業スケジュール等の考え方を定め，今後の設計を進める上での方針をまとめるもの。

■校舎建替のプロセス■



海田東小学校校舎建替基本計画について



海田町教育委員会事務局

計画策定にあたっての基本姿勢

海田東小学校校舎建替基本構想に掲げる基本理念や整備コンセプトをもとに整理した整備方針に基づき、新校舎の設計を行うため、学校関係者等の意見も踏まえて、現状（学校敷地・施設）の課題とその解決に向けた方向性を整理した上で、具体的な設計方針を定めた。

《町立学校の校舎建替の基本理念》

「つくる」… …子供みんなの居場所をつくる（明日また行きたい）

「つづく」… …学校の伝統や歴史がつづく（継承する）

「つながる」… …地域の未来につながる（誇りを育む）

《整備コンセプト》

海田東小学校の強み・特長

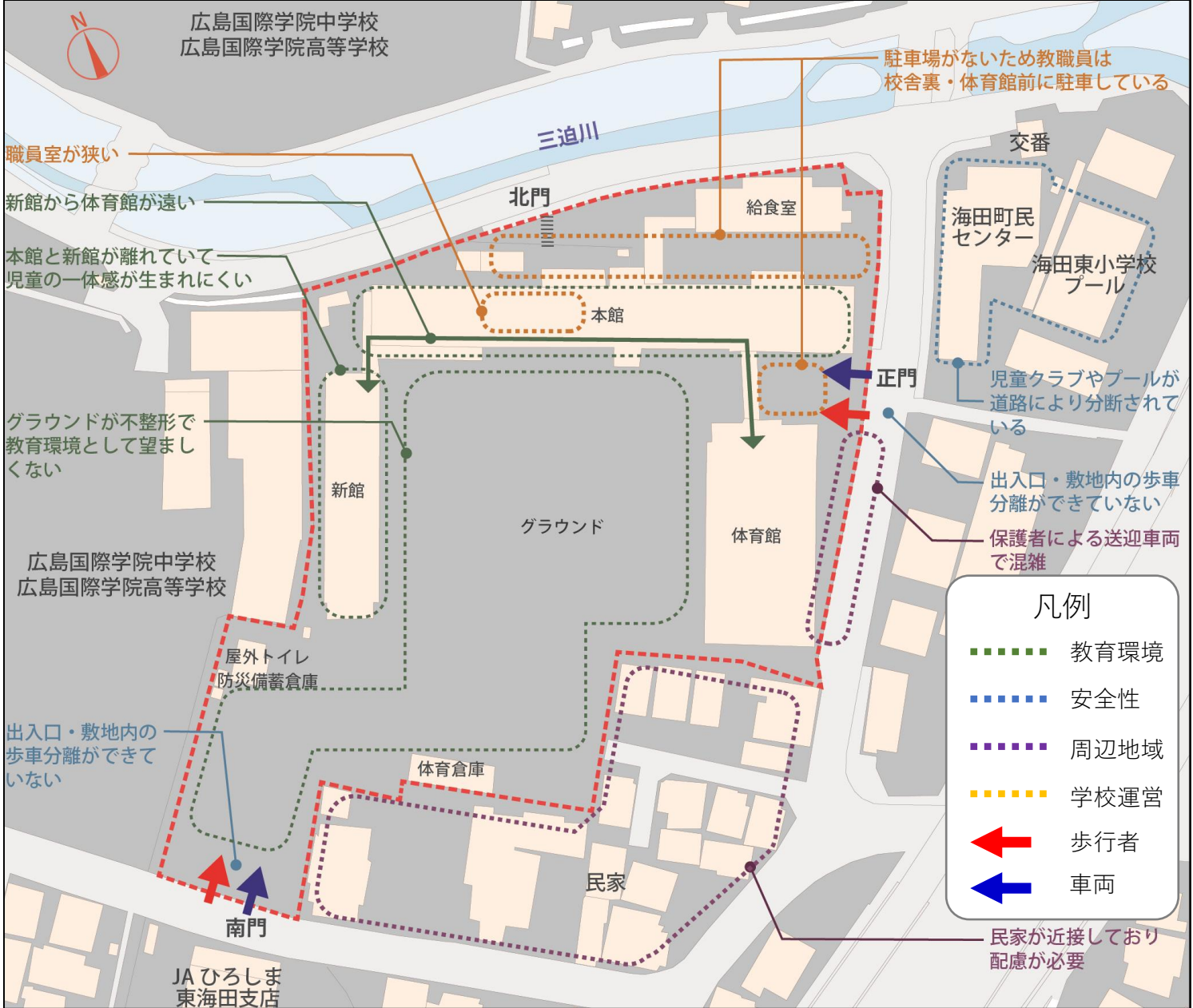
（学校規模を生かした活力ある教育活動・様々な文化に自ずと触れ合える環境）

海田東地区の将来像

（豊かな自然とにぎわいが調和した新たな拠点創出に向けたまちづくり）

を踏まえた学び舎づくり

現状（学校敷地・施設）の課題		課題解決の方向性	
教育環境	グラウンドが不整形で子供たちの教育環境として望ましくない。	整形なグラウンドの確保	
	本館と新館が離れているため、児童の一体感が生まれにくい。	一体的な校舎配置	
	新館から体育館が遠い。	校舎を体育館に近接配置	
安全性	グラウンドが不整形であるため、視認性が悪く安全管理が難しい。	整形なグラウンドの確保	
	正門、南門ともに歩車分離ができていない。	歩車分離した出入口の整備	
	児童クラブやプールへ行くには道路を横断する必要がある。	児童クラブを新校舎へ移転	
	敷地が浸水害の可能性のあるエリアにある。	床の嵩上げや適切な止水対策	
周辺地域	敷地南側に民家が近接しており、配慮する必要がある。	一定程度の距離を空けることや視線・騒音対策	
	敷地東側道路は保護者による送迎車両で混雑することがある。	停車スペースの確保	
学校運営	駐車場が整備されていない。	十分な駐車場の確保	
	余裕教室がなく、柔軟かつ臨機応変な学校運営が難しい。	多目的な利用が可能な教室の整備	
	職員室が狭く、快適な職場環境になっていない。	快適な職員スペースの確保	



海田東小学校校舎建替基本構想に掲げる整備方針について、

「課題の整理とその解決に向けた方向性」を踏まえつつ、具体的な設計方針を検討し、整理。

1 建替対象施設等

【教育活動の更なる充実，敷地の有効活用】

- ・ 本館・新館・給食室を一体的に整備することで，教育活動の更なる充実を図る。
- ・ 不整形な形状の敷地南側に新校舎を配置し，敷地北側にグラウンドを配置することで，視認性の高い整形なグラウンドを整備する。（仮設校舎は建設しない）
- ・ 敷地南側には民家が近接しているため，一定程度の距離を空け，視線・騒音等の対策を行うなど近隣住宅へ配慮した計画とする。
- ・ 給食室は町内他校への給食提供を見据え，配送車両の動線や安全性に配慮した計画とする。

【児童の安全確保，利便性向上】

- ・ 町民センター内の児童クラブを新校舎に移転させ，放課後の児童の安全を確保する。
- ・ 児童の負担軽減を図る観点から，工事期間を短縮し，可能な限り早期に供用開始できる計画とする。
- ・ 登下校時の送迎車両の混雑状況を考慮し，敷地東側に送迎車両の停車スペースを確保する。



2 施設整備に係る方向性

①活力ある教育活動と温かな居場所が交わる学び舎づくり		②伝統と多彩な文化が息づく学び舎づくり	
同学年・異学年交流を促進する空間づくり		言語的コミュニケーションに頼らない学校施設の整備	
学びの中心となる学校図書館（読書・学習・情報センター）の整備【重点】		誰もが直感的に分かりやすいアプローチ（動線）計画，サイン（案内表示）計画【重点】	
同学年・異学年交流を行いやすい空間・動線の整備		異文化理解を促す教育環境の整備	
多様な学習形態に対応した空間づくり		地域住民等との関わりを通じた異文化理解の場の提供	
多様な学習活動を展開できる教室空間の整備		デジタル機器の活用等による，多様化する社会に対応した学習環境の整備	
設備や家具の工夫による多様な学習活動の展開・教室環境の充実		外国にルーツを持つ児童が自らのルーツを感じることができる環境の整備	
多様な教育的ニーズのある児童に対応した学習環境の整備		伝統を継承する空間づくり	
居心地のよい快適な空間づくり		学校や地域の歴史・伝統を未来へつないでいく場の整備	
快適で温かみのある空間の整備【重点】		③地域と共に未来を築く学び舎づくり	
健康的で過ごしやすい学習・生活環境の整備		学校と地域が支え合い協働していくための空間づくり	
学校における働き方改革を推進し，教職員のパフォーマンスを最大化するための執務空間の整備		地域と共に学ぶ空間の整備	
社会環境の変化に対応可能な柔軟性の高い施設整備		地域に開かれた学校づくりに則した空間の整備	
変化に対応可能な柔軟性のある空間構成		災害に備えた学校施設の整備	
長期的な視点に立った，維持管理のしやすい施設整備		避難所としての防災機能の強化	

① 活力ある教育活動と温かな居場所が交わる学び舎づくり

同学年・異学年交流を促進する空間づくり

重点 学びの中心となる学校図書館の整備

- 学びの中心となる学校図書館ゾーンを複数階に配置し、その周りに各教室を配置することで、同学年・異学年交流を促進する。
- 学校図書館ゾーンを中心とした室配置により、学校全体が学びの場となる計画とする。

居心地のよい快適な空間づくり

重点 快適で温かみのある空間の整備

- オープンでゆとりある空間構成や安全に配慮したテラスの設置など、児童にとって多様な居場所となるスペースを確保することで、健康的で快適に過ごしやすい平面計画とする。
- 内装についてはコストに配慮した上で木質化を行うなど、温かみのある素材や色彩を用いた計画とする。

② 伝統と多彩な文化が息づく学び舎づくり

言語的コミュニケーションに頼らない学校施設の整備

重点 誰もが直感的に分かりやすいアプローチ（動線）計画・サイン（案内表示）計画

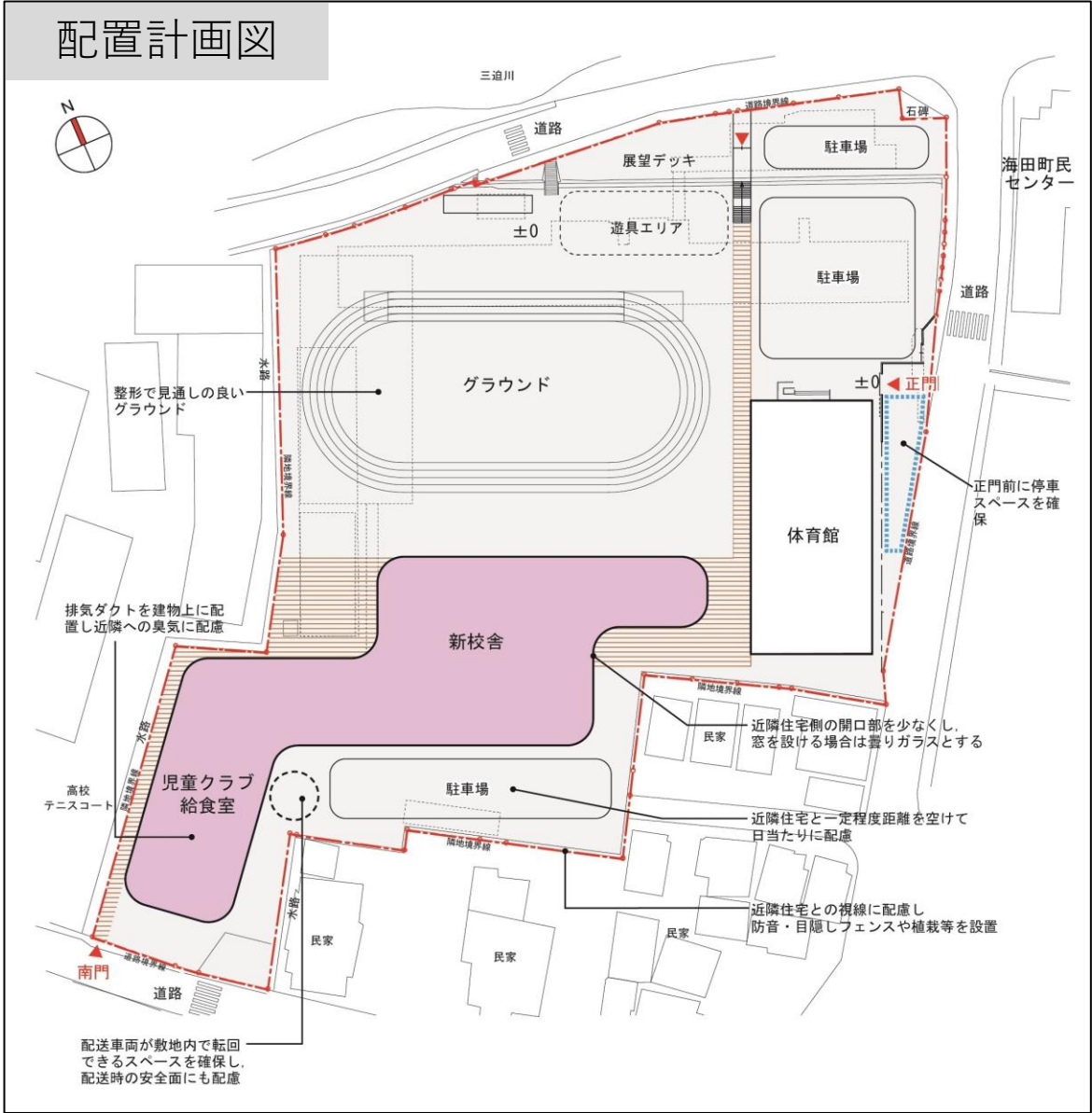
- 正門・南門から昇降口まで舗装等により動線を明示し，誰もが直感的にアクセス可能な計画とする。
- 視覚的に分かりやすいロゴや色彩によるサイン（案内表示）計画とする。

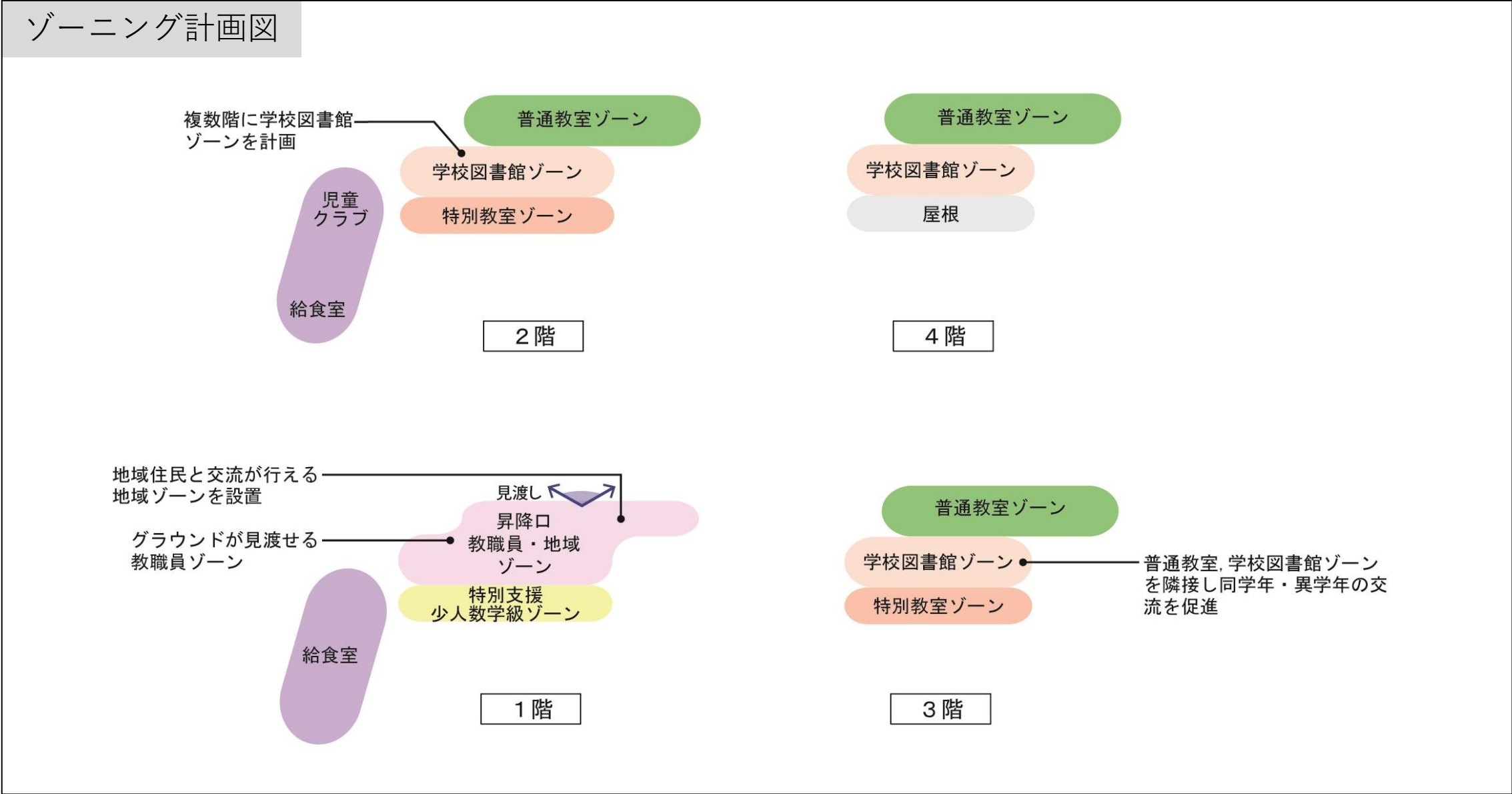
③ 地域と共に未来を築く学び舎づくり

学校と地域が支え合い協働していくための空間づくり

災害に備えた学校施設の整備

- 児童の安全を確保した上で，地域住民等が気軽に立ち寄ることができる地域交流スペースを計画する。地域交流スペースは，地域活動や教職員との打ち合わせ，児童と地域住民等の交流などが行える場とする。
- 浸水害に備えた床高の設定や，止水板の設置，設備機器の上階設置など防災性の高い施設計画とする。さらに，地震等の災害に備え，天井落下防止対策等を検討する。





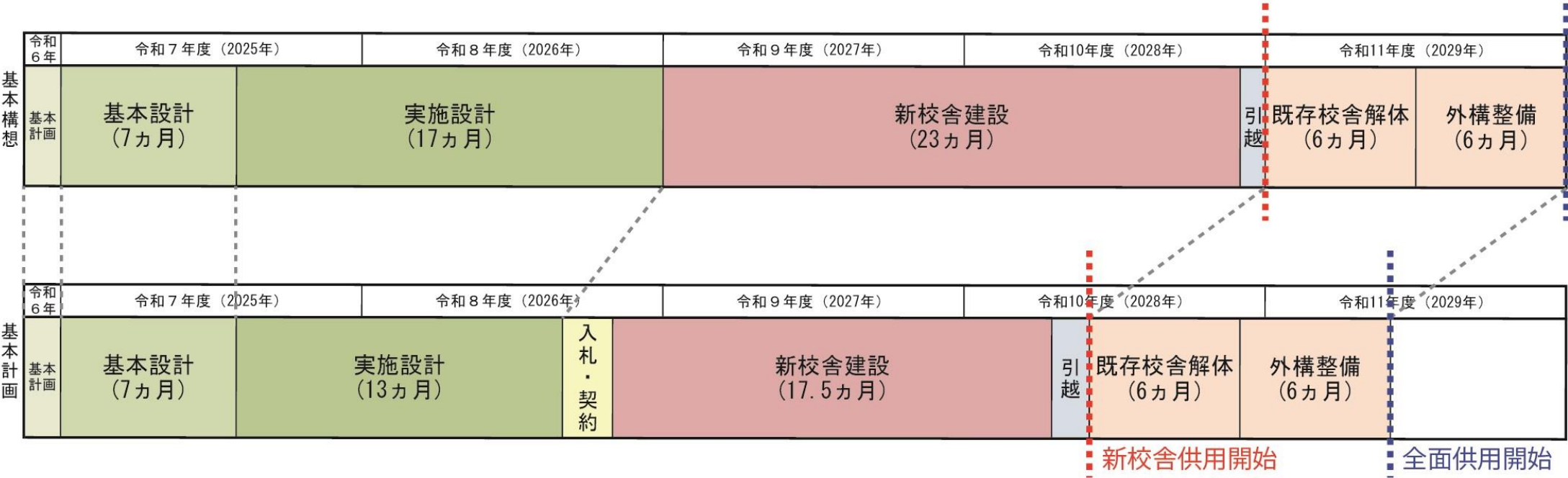
(単位：千円)

整備内容		概算事業費※1
①本体工事費		3,905,000
新築	新校舎	2,826,000
	給食室	754,000
	解体※2	325,000
②附帯・関連整備費（渡り廊下，屋外トイレ・屋外倉庫，外構，備品・什器，厨房機器等）※3		832,000
合計		4,737,000

- ※1 消費税率は10%を見込んでいる。
- 工事発注は令和9年2月を想定しており，物価上昇等により概算事業費の増額が見込まれる。
- ※2 アスベスト対策工事費は，今後の調査によって必要性が生じた場合，これに要する費用が加算される。
- ※3 附帯・関連整備費の詳細検討は基本・実施設計で行う。

構造計画の合理化，工期短縮を伴う経費削減，施工諸室ごとに最適な設備機器を比較検討により選定するなど，基本設計においてはイニシャルコストの縮減を図るため，具体的な検討を行う。

基本構想では，令和11年4月からの新校舎供用開始を想定したスケジュールであったが，各工程の主要な目標を明確にして設計期間を短縮し，さらに仮設校舎を建設しない計画として，工事期間を短縮することで，**令和10年9月の新校舎供用開始と，令和11年8月の整備完了を目指す。**



- 基本設計では、本計画で示した設計方針に基づいて、ワークショップ等により学校関係者や町民等のご意見を伺いながら、より具体的な検討を進めていく。
- 具体的な検討に当たっては、近隣への配慮も含め、必要に応じて諸条件の見直しを行い、建築計画に反映することにより、海田東小学校の児童にとって、「明日また行きたい学校」と思える、また、「地域と共に育つ学校」として将来にわたって地域の誇りを育む「地域の宝」となるような学び舎を目指していく。